

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

『試料・情報の利用目的及び利用方法』	●研究の名称 浜松市クリニックの抗菌薬処方動向観察研究
	●研究の対象 OASCIS（診療所における抗菌薬適正使用支援システム）に登録されている情報のうち、浜松医科大学に抗菌薬処方動向を連携している浜松市内のクリニックを、2019年4月～2025年3月までに受診された患者さん
	●研究の目的 抗菌薬の使用量が増加した結果、今まである抗菌薬が効きづらい菌、薬剤耐性菌が世界的な問題となっています。抗菌薬が不要な感染症に対しての過剰処方が原因と考えられ、日本の政府は2016年に抗菌薬の不要な使用量を減少することを政策として掲げています。 抗菌薬処方動向を観察することで地域の流行感染症や流通の影響をることができます。また処方動向の変化から抗菌薬適正使用に必要なことがなにかを推察することができます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2030年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
『利用し、又は提供する試料・情報の項目』	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究ではOASCISから浜松医科大学に情報の提供が行われます。提供は個人が特定できない状態に加工された処方データをExcelの送付により行われます。情報には個人を特定できる情報は含まれていません。
『利用する者』	●機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

の範囲»	浜松医科大学 小児科学講座 宮入烈 【既存試料・情報の提供機関】 AMR 臨床リファレンスセンター
«外国にある者に対する試料・情報の提供»	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
«試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称»	国立大学法人浜松医科大学
«試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）»	本研究は個人を特定できないようにしたレセプトデータを使用するため、取得した試料又は情報から個人に遡ることはできず、同意の撤回又は拒否があっても対応できません。その他の連絡は、以下«問い合わせ先»にご確認ください。
«資料の入手または閲覧»	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。ただし個人の結果については、既に個人を識別できない状態に加工されたデータのため閲覧はできません。
«情報の開示»	個人の情報は特定できないため、原則的に結果を開示いたしません。
«問い合わせ先»	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 小児科学講座 担当者： 磯部 裕介 TEL： 053-435-2111 E-mail： yusuke1213@hama-med.ac.jp